

ボーイスカウト日本連盟創立95周年記念

日本ジャンボレット高萩2017

Nippon Jamborette Takahagi 2017 (略称：NJT2017)

概要報告 (平成29年9月2日作成)



茨城県高萩市に新しくオープンした日本連盟の野営場「大和の森 高萩スカウトフィールド」を会場に、ビーバースカウトからローバースカウトまで全部門のスカウトが参加できる大会「日本ジャンボレット高萩 2017」を開催いたしました。

■会 期：平成29年8月4日（金）～9日（水）

■主 催：公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

■会 場：茨城県高萩市・大和の森 高萩スカウトフィールド

（BVS・CS部門の生活は、旧高萩市立君田小・中学校）

■後 援：文部科学省、茨城県、茨城県教育委員会、高萩市、高萩市教育委員会

■協 力：防衛省、陸上自衛隊、アイコム株式会社、赤城乳業株式会社、大和ハウス工業株式会社、

日本光電工業株式会社、株式会社バッファロー

■テーマ：Stick to it! スティック トウ イット —最後まで頑張れ—

■参加者：1, 722人

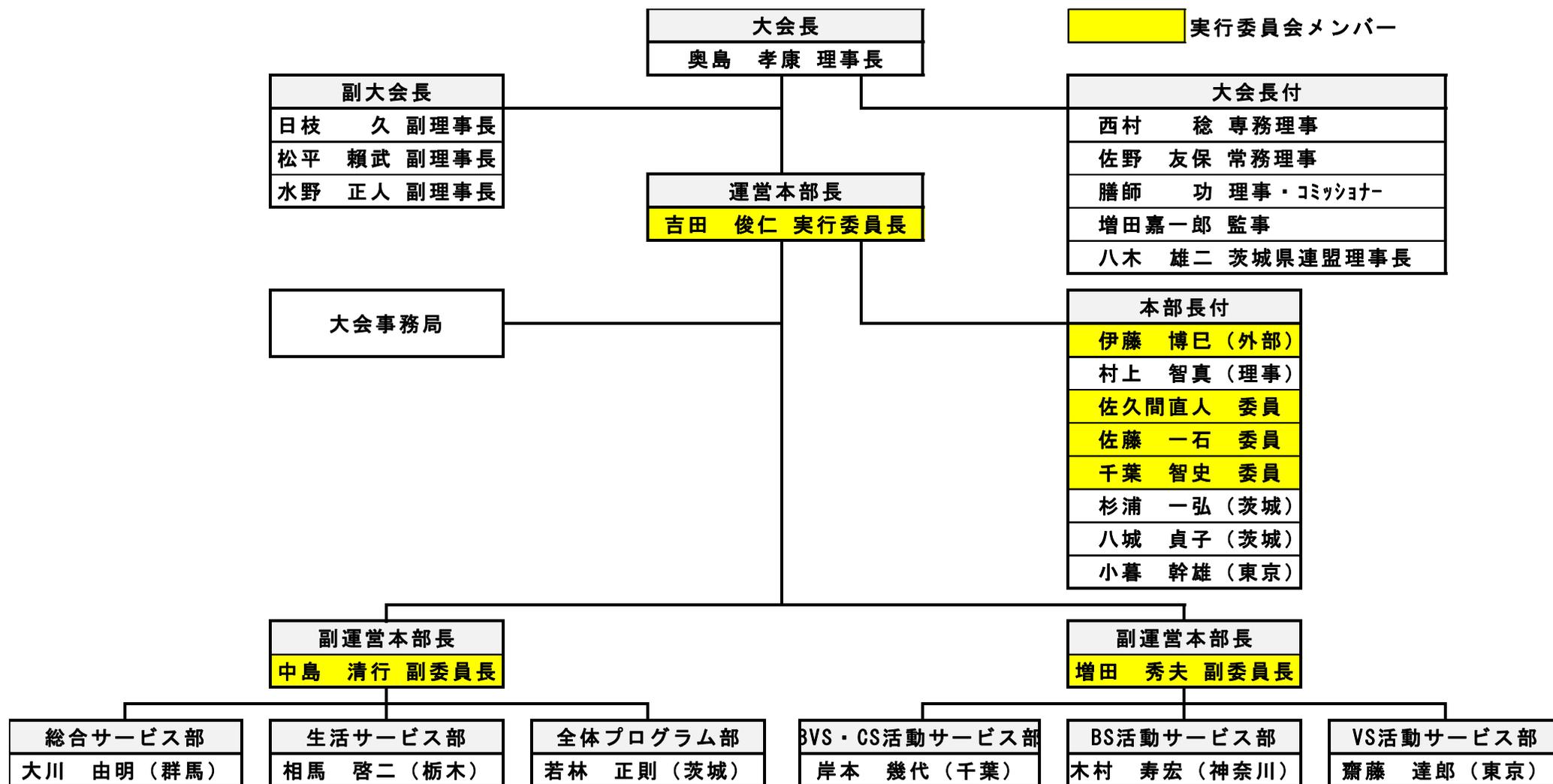
内訳：B	V	S隊：185人（指導者含む）
C	S隊：668人（指導者含む）	
B	S隊：237人（指導者含む）	
V	S：68人	
本部スタッフ：206人（RS含む）		
大会役員・事務局：31人		
一	般：327人	

■来 賓：59人（順不同、敬称略。役職は開催当時）

樋口	尚也	文部科学大臣政務官
逢沢	一郎	ボーイスカウト振興国会議員連盟会長
大畠	章宏	ボーイスカウト振興国会議員連盟理事
羽田	雄一郎	ボーイスカウト振興国会議員連盟会員
土肥	克己	文部科学省生涯学習政策局青少年教育課長
葛城	昌弘	文部科学省生涯学習政策局青少年教育課庶務係長
橋本	昌	茨城県知事
藤島	正孝	茨城県議会議員
小野寺	俊	茨城県教育長
小川	一成	ボーイスカウト振興茨城議員連盟会長
岡田	拓也	ボーイスカウト振興茨城議員連盟幹事
小田木	真代	高萩市長
田所	和雄	高萩市議会議員
小沼	公道	高萩市教育長
樋口	武男	大和ハウス工業株式会社代表取締役会長
花岡	美智子	公益社団法人ガールスカウト日本連盟会長
徳川	斉正	水戸徳川家15代当主
澤田	勝成	中戸川地区常設委員
菊地	恵雄	中戸川地区副常設委員
檜村	良雄	世話人（中戸川）
弓野	政行	世話人（米平）
大部	勝央	世話人（鳥曾根）
沼田	親厚	大能地区常設委員
鈴木	直登	上君田地区常設委員

その他多くの方々にご来場いただきました。

■大会組織と大会役員



■プログラム

今大会の大きな特徴は全部門が参加しているということです。そのため、プログラムも各部門を対象としてそれぞれ実施するものと、全部門が参加できる共通のものを実施しました。

場内では、高い木に括くりつけた大きなブランコや川を渡るための吊り橋など、会場内の豊かな自然を活かしたプログラムを数多く展開しました。また、地元の茨城県と高萩市の魅力を盛り込んだプログラムも行われ、スカウトはもちろん、一般からの参加者も楽しんでいました。特にボーイ部門を対象にしたプログラムでは、スカウトたちのチャレンジ精神を奮い立たせるものが多く、スカウトたちは高萩スカウトフィールドの広大な土地を存分に活かした内容に仲間と協力して挑戦していました。

場外では、自転車ツーリングやハイキング、シャワーウォーキングなどのプログラムも展開しました。



1. 全体プログラム

01 開会式、02 グランドオープンセレモニー、03 閉会式

2. 部門別プログラム（各部門対象）

（1）BVS・CSプログラム

04 「狙い撃ち」弓矢での的あて、05 大型クレーンゲーム、06 「森のレストラン」コンテスト、07 ぼくの私の表札づくり、08 フロッタージュ、09 ぼうけん王への道、10 デン・デン・デンコレクション、11 魅惑の滝エリアへ、12 キラキラビーズで何作ろう、13 スターツアーたかはぎ、14 ピカピカ用意ドン！雑巾がけ

（2）BSプログラム

15 工作物コンテスト、16 未知のタカハギを開拓せよ！「土岳」登山、17 スカウトフィールドからの贈り物、18 君たちは救世主になれるか！？～タカハギ村を救え、19 ローマ戦車競争、20 投石機・あの山を越えろ、21 わが旗かざし

（3）VSプログラム

22 ツール・ド・タカハギ、23 シャワー・ウォーク、24 ハンティング・ワールド 高萩、25 堅破山トレッキング、26 サバビバ、27 いつでもクッキング、28 いつでも開拓

3. 共通プログラム（全部門対象）

29 トムソーヤー・アドベンチャー、30 ロープワーク、31 森の音楽会、32 オセロ・トーナメント、33 苔の箱庭づくり、34 五浦の作家の絵を描こう、35 地産地消 de ピザ、36 茨城名物納豆料理、37 クラフトの森、38 ドッジビー、39 平和の鐘
(ステージプログラム)

40 茨城 “ケンミン” ショー、41 キッズ・コンサート、42 茨城ワイワイステージ、43 茨城 不思議発見！、44 自衛隊コンサート、45 いばら Night、46 ジャンボレット・ショー、47 来るなら来い チャンピオンズ

(展示プログラム)

48 茨城県紹介、49 高萩市紹介、50 県北ジオパーク紹介、51 自衛隊紹介、52 大和ハウス工業株式会社

■ 8月4日（金）

参加者（BS隊、VS）の入場、設営

夜には、キャンプファイアと火文字、各参加隊の代表スカウトが県連盟旗とともに入場し、奥島孝康大会長の開会宣言によって「日本ジャンボレット高萩 2017」が開会しました。ファンファーレが鳴り響き、スカウトたちはこれから始まる大会でどのような体験をし、どのような仲間に出会えるか、期待に胸を膨らませていました。開会式の最後には、アリーナの後ろにある森をスクリーンにして映像を映し出す「プロジェクションマッピング」が披露され、壮大な光と音の演出に会場が包まれました。



■ 8月5日（土）

この日から参加するビーバースカウトとカブスカウトも迎え、高萩スカウトフィールドのグランドオープンセレモニーを実施。橋本茨城県知事、樋口文部科学大臣政務官、逢沢 BS 振興国会議員連盟会長、小田高萩市長、羽田参議院議員、樋口大和ハウス工業株式会社会長をはじめ、多くの来賓の方々にご出席いただき、祝福のメッセージをいただくとともに、オープンを記念した LOG&AXE セレモニーを行いました。また、大和ハウス工業株式会社樋口会長より、管理棟である「新平荘」を寄贈していただきました。（役職名等は開催当時）



■ 8月6日（日）

「茨城DAY」で、大会を盛り上げるために、地元の小学生たちが会場に駆けつけてくれました。小学生たちのにぎやかなステージショーにより、今大会が広く一般に開かれていることを改めて感じる事ができました。夜はスカウトたちお待ちかねの「いばら Night」の時間です。浴衣や法被を身にまとい、夏の夜のお祭りとなりました。



夜はスカウトたちお待ちかねの「いばら Night」の時間です。浴衣や法被を身にまとい、夏の夜のお祭りとなりました。

6日の他に、7～8日も一般参加を受け入れ、3日間合計300人を超える子供たちが参加しました。

■ 8月7日（月）

秋篠宮同妃両殿下が、ジャンボレットをご視察になりました。両殿下には、キャンプサイトにおいて、茨城県連盟つくば第3団のスカウトたちとお言葉を交わしていただくとともに、会場内のいくつかのプログラムを体験していただきました。

■ 8月8日（火）

台風の影響により、夜に予定されていた閉会式を、内容を変更して午後に実施し、各参加隊長および本部スタッフが集い、八木雄二大会長付の閉会宣言により、「日本ジャンボレット高萩2017」が閉会しました。



次第：①開式の言葉、②ソング「この道を行く」、③大会総評、④大会長宣言、⑤トランペット演奏、⑥連盟歌斉唱、⑦国旗儀礼、⑧閉式の言葉、⑨弥栄

■ 8月9日（水）

撤営と環境整備、BS部門の優秀班の表彰式が行われました。
表彰式では、各プログラムで優秀な成績をおさめた各隊・各班のスカウトたちを表彰し、会場にいた全員で弥栄を贈りました。
その後、本部スタッフ解散式を行い、大会の幕を閉じました。



■ 大会の準備

実行委員会（吉田俊仁委員長）を編成し7回の委員会を開催し、また6つの専門部会を編成し、具体的な諸準備が進めました。12月に、最後の実行委員会を開催し、大会の評価を行う予定です。

■ 吉田実行委員長総括

今大会は、1. 高萩スカウトフィールドでは初となる日本連盟主催大会、2. ビーバースカウトからローバースカウトまで全部門のスカウトが参加できる新たな野営大会、3. 「ジャンボレット」という名称の大会、3つの「初」の大会でした。

全部門のスカウトが見学ではなくプログラムに参加できる今大会では、高萩スカウトフィールドならではの指定範囲内伐採による野営工作、ボーイの班対抗チャレンジプログラム、ベンチャーによる営火場の新設や間伐材でのトーテムポール製作など、各部門のスカウトが野営生活を楽しむ姿を大いに感じることができました。また、大会スタッフが制作した吊り橋では秋篠宮同妃両殿下が巨大ブランコやジップラインに挑戦するスカウトに目を細められ、このフィールドの素晴らしさ、活動内容にご興味を示されたことが印象的でした。

大会開催にあたっては、野営場の拡大、ステージおよびアリーナの建設、駐車場の整備・確保、ビーバーやカブの宿泊施設など苦労の連続でした。大会スタッフの努力や地域住民の方々のご協力、大和ハウス工業様から管理棟建設のための2億5千万円のご寄付、茨城県および高萩市からも3年間にわたる多額の補助金などをいただき、この大会が開催できましたことに深く感謝申し上げます。

参加したスカウトや指導者からは、早くも「参加してよかった、また参加したい」との声をいただきました。今大会の反省を活かして今後も主催大会の発展に繋げてまいりたいと思います。

参加スカウト保護者からのメッセージ

高萩ジャンボレット運営スタッフの皆様

こんにちは 仙台第一団ボーイ隊 ウグイス班班長の母です。

この度は息子が大変お世話になりました。

中3の息子らはいわゆる「ハズレ」の学年で、日本ジャンボリーも世界ジャンボリーも行くことが出来なかったのですが、このジャンボレットのお陰で、班長として6日間のキャンプを引っ張る経験をさせていただけたことが、何よりの宝となりました。「我が旗かざし」「ローマ戦車」などでは自分たちのスキルが低くて負けたとか、後輩が体調を崩したり、台風がきたりと逆境にも直面しましたが、それを班員と力を合わせて乗り越え、工作物ではアイデア賞を頂いたりして、本当に多様な経験をする機会を頂戴しました。しかスカウトから入隊し丸5年が過ぎたところですが、日々の訓練の成果を試し、実を結んだことは、大きな自信となったことでしょう。

大会スタッフ全ての皆様が、ご自身の日々の仕事と生活の中から、貴重なお時間と労力を提供していただいたおかげで、息子のボーイ隊での訓練を上げることが出来ます。皆様それぞれが遠方で生活する中、準備は大変だったと思いますが、その熱意と技術のお陰で、普段の団の活動では難しい貴重な経験を得ることが出来ました。

また、私は娘がくまスカウトでカブ隊の副長をしておりますので、1泊2日のカブ隊のプログラムにも参加することが出来ました。トムソーヤーアドベンチャーでのウォールや巨大ブランコ、森の中でのデン作りは普段の活動ではなかなか実施しづらいもので、貴重な経験となりました。また、うちのスカウト達は渋谷14団さんのスポーツチャンバラの前を通るたびにそこに並んでお手合わせを願う内、いつの間にか道具を借りてきて、他の団のスカウトとも一緒にチャンバラをしたり、記念のネッカチーフリングを買いに行ったりしていました。スカウトのなかには「1週間位いたみたいだ」と言って、凝縮した活動に満足していたようでした。来場者が多い中、迷子が出なかったのは、スカウトに適度な緊張感があり、ルールを守って活動することが出来て、私達も彼らの成長を感じることが出来ました。

このたび、皆様が息子、娘の成長のために貢献して下さったように、私も今後はリーダーの一人として、以降の年代のスカウトのために何かできればと、思いを新たにいたしました。

この度は大変お疲れさまでした。本当にありがとうございました。（これをスタッフの皆様へ転送していただければ幸いです）

仙台第1団 佐藤由瑞美



そなえよつねに
ボーイスカウト